第 25 講
ティムール朝・サファヴィー朝・オスマン帝国

1

【ティムール帝国】チンギスハンの次男チャガタイがトルキスタンを支配した。14 世紀に (1)〔　　〕にトルコ人ティムールが現れモンゴル帝国の再興を企てた。(2)〔　　〕を都としたティムール帝国（(3)〔　　〕年～ (4)〔　　〕年）だ。ティムールは北に (5)〔　　〕を攻め，西には (6)〔　　〕を併合し，さらには (7)〔　　〕世を (8)〔　　〕の戦いで破り (9)〔　　〕を中断させ，南に**トゥグルク朝**の時の (10)〔　　〕朝のインドに遠征（サイイド朝はティムールの武将が建国），東に向け**永楽帝**（えいらくてい）の (11)〔　　〕の遠征途上の**オトラル**で病死した。第３代シャー＝ルフは (12)〔　　〕を首都とした。

第４代 (13)〔　　〕の建てた**マドラサ**や**天文台**がサマルカンドにある。細密画（(14)〔　　〕）は 12 世紀アッバース朝の頃に本の挿絵（さしえ）として生まれ後に**中国絵画の影響を受け**成立した。サマルカンドの町に関して言えば,「チンギスハンが破壊しティムールは建設した」と言われる。ティムール帝国は (15)〔　　〕の**シャイバーニ＝ハン**の南下で滅亡した。西トルキスタンには (16)〔　　〕の (17)〔　　〕になり，これらは 19 世紀に**帝政ロシア**に併合され，**ソ連**を経て (18)〔　　〕年に**ウズベキスタン共和国（首都** (19)〔　　〕）として独立した。

【サファヴィー朝】ティムール帝国の南半分には (20)〔　　〕朝（(21)〔　　〕年～ (22)〔　　〕年）が成立，ウズベク族の南下を 1510 年に撃退した。撃退したのが神秘主義教団の (23)〔　　〕世で，シーア派の (24)〔　　〕を国教とした。現在のイラン＝イスラーム共和国が 12 イマーム派である理由はここにある。だからシーア派であることが最重要だ。イスマーイール１世はスンニー派のオスマン＝トルコのセリム１世に 1514 年のチャルディラーンの戦いで敗れた。(25)〔　　〕世はタブリーズから (26)〔　　〕に遷都した。その繁栄ぶりは「**イスファハーンは世界の半分**」と言われ (27)〔　　〕がある。ペルシャンブルーの幾何学的（きかがくてき）植物模様（(28)〔　　〕）は (29)〔　　〕のイメージ。楽園思想は古くはゾロアスター教に見られユダヤ・キリスト・イスラーム教シーア派に継承（けいしょう）された。アッバース１世は**ポルトガル**から (30)〔　　〕を奪還した。またオスマン帝国からはメソポタミアを奪還（だっかん）した。サファヴィー朝はアフガン人の侵入で滅亡した。

解答

（1）西チャガタイハン国　（2）サマルカンド　（3）1370　（4）1507
（5）キプチャク＝ハン国　（6）イル＝ハン国　（7）バヤジット１　（8）アンカラ
（9）オスマン帝国　（10）デリースルタン　（11）明（みん）　（12）ヘラート
（13）ウルグ＝ベク　（14）ミニアチュール　（15）遊牧ウズベク
（16）ヒヴァ，ブハラ，コーカンド　（17）ウズベク系３ハン国　（18）1991
（19）タシケント　（20）サファヴィー　（21）1501　（22）1736
（23）イスマーイール１　（24）12 イマーム派　（25）アッバース１　（26）イスファハーン
（27）イマームのモスク　（28）アラベスク　（29）楽園　（30）ホルムズ島

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

13世紀の小アジア（(1)〔　　〕高原）はキリスト教徒とイスラーム教徒の最前線。そのイスラーム戦士（ガーディー）のオスマン＝ベイがオスマン帝国（(2)〔　　〕年～(3)〔　　〕年）をつくった。

３代目スルタンの(4)〔　　〕はヨーロッパ側を征服し小アジアの(5)〔　　〕から(6)〔　　〕に遷都し，(7)〔　　〕と改称した。(8)〔　　〕年の(9)〔　　〕の戦いではセルビア王国に勝利した。その600年後の1989年にユーゴスラビアの指導者はセルビア人のナショナリズムを高揚させる。

【バヤジット１世】４代目スルタンのあだ名は「電光」。(10)〔　　〕年の(11)〔　　〕の戦いでハンガリー王のちになる神聖ローマ皇帝(12)〔　　〕を破ったが，(13)〔　　〕年の(14)〔　　〕の戦いでは(15)〔　　〕に敗れ捕虜となり帝国は中断した。

【(16)〔　　〕】７代目スルタンのあだ名は「征服」。(17)〔　　〕年に(18)〔　　〕を奇策(きさく)山越えで征服，ビザンツ帝国を征服，(19)〔　　〕聖堂の四隅に(20)〔　　〕（イスラームの尖塔(せんとう)）をくっ付けた。同地に遷都し(21)〔　　〕を建立。黒海(こっかい)北岸(22)〔　　〕国も支配下においた。

【(23)〔　　〕】９代目スルタン。メッカとメディナを保護下に置き，(24)〔　　〕年にカイロの(25)〔　　〕を征服し同朝が擁立していた(26)〔　　〕を獲得，(27)〔　　〕が成立した。（と，18世紀にオスマン帝国は主張しはじめた。クリミヤ半島のイスラーム教徒を懐柔(かいじゅう)しロシアに味方しないように）。

こうして**オスマン帝国がイスラーム世界の盟主**にイスタンブルがその中心になった。

【(28)〔　　〕】10代目スルタン，あだ名は「立法」。イスタンブルには10の回廊がある(29)〔　　〕がある。ベオグラード占領後(30)〔　　〕年の(31)〔　　〕の戦いでハンガリーを占領，(32)〔　　〕皇帝(33)〔　　〕はその脅威に抗するため(34)〔　　〕を解禁にする。スレイマン１世が(35)〔　　〕年に第１次ウィーン包囲を解いて退却すると(36)〔　　〕は再度ルター派を禁止したので，**ルター派諸侯は抗議（protest）**した。これが**プロテスタントの語源**となった。

解答

（1）アナトリア　（2）1299　（3）1922　（4）ムラト１世　（5）ブルサ
（6）アドリアノープル　（7）エディルネ　（8）1389　（9）コソヴォ　（10）1396
（11）ニコポリス　（12）ジキスムント　（13）1402　（14）アンカラ　（15）ティムール
（16）メフメト２世　（17）1453　（18）コンスタンティノープル　（19）ハギア＝ソフィア
（20）ミナレット　（21）トプカプ宮殿　（22）クリム＝ハン　（23）セリム１世
（24）1517　（25）マムルーク朝　（26）カリフ権　（27）スルタン＝カリフ制度
（28）スレイマン１世　（29）スレイマン＝モスク　（30）1526　（31）モハーチ
（32）神聖ローマ　（33）カール５世　（34）ルター派　（35）1529　（36）カール５世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(37)〔　　〕年の (38)〔　　〕をヴァロワ朝の (39)〔　　〕と結ぶ。(40)〔　　〕という**居住と通商の自由（治外法権）**が慣習化。(41)〔　　〕年の (42)〔　　〕の海戦で (43)〔　　〕・(44)〔　　〕・(45)〔　　〕の連合軍に勝利した。また (46)〔　　〕を (47)〔　　〕から (48)〔　　〕へ駆逐した。セリム１世に引き続き (49)〔　　〕とメソポタミアを争い獲得しバグダードを占領した。また現在のイェルサレムの城壁はスレイマン１世の時代のものである。

セリム２世の (50)〔　　〕年の (51)〔　　〕の海戦（ギリシア西岸）で (52)〔　　〕世の (53)〔　　〕に敗れた。『(54)〔　　〕』の著者スペイン人 (55)〔　　〕が負傷した。しかしその後チュニジアを領有し帝国領土最大となる。同スルタンの時 (40)〔　　〕を正式に認めた。

オスマン帝国の統治のキーワードは (56)〔　　〕。スンニー派イスラーム帝国ではあっても，**各宗教共同体は尊重する柔らかい専制**だ。これを (57)〔　　〕という。だからキリスト教徒も登用（とうよう）する。これを (58)〔　　〕といい，キリスト教徒の美少年をスルタンの近衛兵（(59)〔　　〕）にした。

ブワイフ朝→セルジューク朝と継承されたイクター制度を採用，(60)〔　　〕という官吏や軍人に奉仕（ほうし）の代償（だいしょう）として徴税権を与える制度が採られた。また，イスラーム教徒にたいする裁判官を (61)〔　　〕と呼んだ。

解答

(37) 1535　(38) フランス＝トルコ同盟　(39) フランソワ１世　(40) カピチュレーション
(41) 1538　(42) プレヴェザ　(43) スペイン　(44) ヴェネツィア　(45) ローマ教皇
(46) ヨハネ騎士団　(47) ロードス島　(48) マルタ島　(49) サファヴィー朝
(50) 1571　(51) レパント　(52) フェリペ２　(53) スペイン　(54) ドン＝キホーテ
(55) セルバンテス　(56) ミッレト　(57) ミッレト　(58) デウシルメ
(59) イェニチェリ　(60) ティマール　(61) カーディー

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 25 講　テスト

1　ティムール朝で形成された文化は。

①　イラン＝イスラーム文化

②　トルコ＝イスラーム文化

③　モンゴル＝イスラーム文化

④　インド＝イスラーム文化

2　スレイマン＝モスクなどの公共建築に関わったのは。

①　キジルバシュ

②　アーヤーン

③　シナン

④　カビール

3　オスマン帝国においてイスラーム法に基づいて裁判をおこなう行政官は。

①　カーディー

②　カーヌーン

③　シパーヒー

④　チャルディラーン

4　サファヴィー朝のアッバース１世が遷都した都市は。

①　テヘラン

②　イスファハーン

③　カンダハル

④　ペルセポリス

5　アッバース１世がホルムズ島を奪還した国は。

①　オスマン帝国

②　イギリス

③　オランダ

④　ポルトガル

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

6　サファヴィー朝の宗派は。

①　スンニー派

②　ワッハーブ派

③　アラウィ派

④　シーア派(12 イマーム派)

第 25 講　テスト解答

1　②　　2　③　　3　①　　4　②　　5　④　　6　④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。